

落札者決定基準 (イノベーション創出に向けたPR業務)

1 基本的な考え方

落札者の決定に当たっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、予定価格の範囲内で有効な入札を行った者について、本落札者決定基準に基づき入札価格と提案内容を審査し、総合評価点が最も高い者を落札者とする。

なお、公平な審査を行うため、本市が設置するイノベーション創出に向けたPR業務に係る事業者選定委員会（以下「委員会」という。）にて審査を行う。

(1) 価格評価点

入札価格について、後に示す算出式に基づき、「価格評価点」を与える。

(2) 技術評価点

別記「評価表」に基づき提案内容を審査し、「技術評価点」を与える。

(3) 総合評価の方法及び落札者の決定方法

「価格評価点」及び「技術評価点」の合計点（＝総合評価点）が最も高い者を落札者とする。

総合評価点 (100点満点)	=	価格評価点 (50点満点)	+	技術評価点 (50点満点)
-------------------	---	------------------	---	------------------

(4) 有効とする数字

「価格評価点」及び「技術評価点」の算出に当たっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

(5) 総合評価点が最も高い者が複数ある場合の落札者の決定方法

ア 総合評価点が最も高い者それぞれの「価格評価点」「技術評価点」が異なる場合
技術評価点が高い者を落札者とする。

イ 総合評価点が最も高い者それぞれの「価格評価点」「技術評価点」が同じ場合
技術評価点のうち、評価項目「②」における各委員の合計点が高い者を落札者とする。

ウ 以上アからイで落札者を決定できない場合

入札価格が低い者を落札者とする。入札価格も同じ場合は、別途日を定め、くじにより決定する。この場合、当該入札参加者は、くじを辞退することはできない。

2 価格評価点の算出方法

価格評価点は、入札価格に基づき、次により算出する。

価格評価点 = 50点 × (最低入札価格 / 入札価格)

ただし、予定価格を上回る入札を行った者は、落札者とし（技術提案書等の審査は行わない）ものとする。

3 技術評価点の算出方法

入札参加者から提出された技術提案書等を審査し、別記「評価表」に基づき以下の手順により技術評価点を算出する。

(1) 評価点

技術提案書等の記載内容により、各評価項目について次のとおり評価点を付与する。

評価の目安	評価点
非常に優れている	5
優れている	4
標準である	3
やや劣っている	2
劣っている	1
記述がない（評価できない）	0

(2) 項目評価点

評価点に、評価項目の重要度に応じて設定したウェイトを乗じて、項目評価点とする。

(3) 技術評価点

項目評価点を合計したものを得点とし、委員会の各委員の得点を平均したものを技術評価点とする。

(4) 技術評価点における基準点

(3)の技術評価点が25点未満の場合は、失格とする。

4 失格事項

次のいずれかに該当する場合は失格とする。

- (1) 提出書類に不足又は不備がある場合（軽微な場合を除く。）
- (2) 提出書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 著しく信義に反する行為があった場合
- (4) 契約を履行することが困難と認められる場合
- (5) 技術提案書等の記載内容が法令違反など著しく不適当な場合
- (6) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合
- (7) 技術評価点が、上記3(4)における基準点を満たさない場合

別記 評価表

評価項目	評価事項	配点	ウェイト	評価点	項目評価点
①堺市及び中百舌鳥の認知度向上	認知度向上の手法として、堺市及び中百舌鳥エリアの現状や特性に即した有効かつ実現可能な内容の提案となっているか、また取材記事における記事構成の提案手法は読み手の興味を引き取材企業等の魅力が伝わる提案となっているか。	10 点	2	5. 非常に優れている 4. 優れている 3. 標準である 2. やや劣っている 1. 劣っている 0. 記述がない	
②リーチ力、拡散力	全国の事業者や関係者にリーチする、また拡散する PR 方法として、具体的な提案内容となっているか、また有効かつ実現可能な提案となっているか。	15 点	3		
③魅力的なイベント実施	全国発信イベントは、全国のイノベーティブな人材の興味を引き参加を促進しかつ堺市のステークホルダーも参加しやすい実現可能な提案となっているか。また、テーマ設定や講演候補者について、業務目的に沿った効果的な提案となっているか。	15 点	3		
④業務実施体制及び業務スケジュール	業務を着実かつ効果的に遂行できる実施体制が整っているか。発信スケジュールが明確で、適切な連携のもと進行できるか。また、認知度向上や情報拡散に効果的な手法や内容が提案されているか。	5 点	1		
⑤類似業務の実績	本業務に規模、内容が類似する業務の実績を有しているか。また、記事のリーチ数やイベント参加者数等について十分な実績を有しているか。	5 点	1		
		50 点（満点）			〇点（得点）